

令和6年度横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】

(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】)募集案内

横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】は、強度行動障害支援者養成研修【実践研修】としても位置付けられた研修であり、次により実施します。

日 程： 令和6年7月30日(火) ～ 31日(水)
※両日9:00～17:00(予定)
定 員： 48名程度
会 場： 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜
教材費等： 10,000円
募集期間： 令和6年5月27日(月) ～ 6月7日(金)※17時必着

【実践研修】今年度は今回募集のみとなります。

【基礎研修】今年度は3回(10月2回、12月1回)実施いたします。

カリキュラム・申込方法など詳細については、下記「令和6年度横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】)実施要領」をご覧ください。

.....

令和6年度 横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】

(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】)実施要領

1 目的

行動障害を有する者のうち、いわゆる「強度行動障害」を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどにより、日常生活に困難が生じているため、現状では事業所での受入れが消極的であったり、身体拘束や行動制限などの虐待につながったりする可能性も懸念されるところです。

一方、障害特性の理解に基づく適切な支援を行うことにより、強度行動障害が低減し、安定した日常生活を送ることができることが知られています。

このため、強度行動障害のある方の地域移行及び地域生活に向けた取組として、強度行動障害に係る支援手法の浸透や、適切な支援を行う職員の人材育成を目的とした横浜市強度行動障害支援力向上研修(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】)を実施します。

なお、本件研修は神奈川県より「強度行動障害支援者養成研修(実践研修)」として指定を受けた研修となっています。

2 日程・研修カリキュラム等

研修日程： 令和6年7月30日(火)～ 31日(水)

※両日9:00～17:00(予定)

研修カリキュラムについては別紙「横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】カリキュラム」参照

3 会場

名称：福祉保健研修交流センター ウィリング横浜

所在地：〒233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内

4 定員

48名程度

5 受講対象者

次の(1)から(4)の要件を全て満たす者

(1)強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)を修了した者

※受講決定後、定められた期日までに修了証書の写しを送付してください。送付ができなかった場合には、本研修の受講はできません。

(2)横浜市内に所在する障害福祉サービス事業所等において、知的障害、精神障害のある児者を支援対象にした業務に従事している者、今後従事する予定のある者若しくは障害福祉サービス事業所等の連携医療機関等において治療に当たる医療従事者又は障害福祉サービス事業所等と連携し強度行動障害のある児童生徒の支援に当たる特別支援学校の教師等。

(3)2日間全ての日程を受講できる者

(4)所属している法人の推薦を受けた者

6 受講者の推薦・申込み

(1)申込み方法 次の【1】【2】をすべて整えてください。

【1】受講申込フォーム

- ・法人の取りまとめ担当者が入力してください。
- ・インターネット上の受講申込フォームからの申込みとなります。
- ・申込多数になることが予想されるため、1法人3名(1事業所1名)までの申込みとさせていただきます。
- ・受講希望者1人につき1送信です。
- ・下記URLより、必要事項をご入力の上お申込みください。

《URL》 <https://forms.gle/VKiAawMJTQhnpMgo7>

《受講申し込みフォーム:QRコード》



【2】受講推薦書について

- ・別紙「横浜市強度行動障害支援力向上研修(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】) 受講推薦書」に受講希望者全員の氏名・優先順位等の必要事項を記載し、返信用レターパックを同封し郵送してください。
- ・申込多数になることが予想されるため、1法人3名(1事業所1名)までの申込とさせていただきます。
- ・受講推薦書の**法人内優先順位は必ず記載**ください。法人内優先順位が未記載の場合や不適切な記載の場合(法人内優先順位1位が複数いる等)については、受講を見送りとさせていただきます。

※申込締め切り後は一切受け付けませんので、ご注意ください。

(2) 申込様式 別紙様式

ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ(URL:<https://shougai.rakuraku.or.jp/>)」の「書式ライブラリ検索」→「文章 / カテゴリ検索」をクリック「文書 / 書式カテゴリー一覧(大分類選択)」の「2. 横浜市からのお知らせ」→「⑧ 研修・説明会等【横浜市】」に掲載します。

(3) 返信用レターパックの同封(受講決定等の通知に使用)

- ・レターパックライト(青色 370 円)
- ・法人代表者宛てに宛名を記入してください。(宛名は〇〇御中又は〇〇様としてください。)
- ・宛先以外は事務局で記入しますので、何も記入しないでください。

(4) 申込期間 令和6年5月27日(月) ~ 令和6年6月7日(金) 17時(必着)

(5) 推薦書送付先

〒231-0047

横浜市中区羽衣町2-4-4 エバーズ第8関内ビル5F

横浜市発達障害者支援センター 研修担当

※お手数ですが、封筒表面余白に「横浜市強度行動障害支援力向上研修申込書在中」と記載願います。

7 受講者の決定

- 定員を上回った場合は、推薦された方の中から、法人内優先順位等を勘案し、申込の内容を審査した上で決定します。(先着順ではありません。)
- 「行動援護従業者養成研修」及び「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」を修了していない方を優先して選考対象とします。
- 強度行動障害を有する方の支援に関する相談業務に従事している一次相談支援機関・二次相談支援機関の方も優先して選考対象とします。
- 行動援護業務に従事している方や従事しようとする方は、「行動援護従業者養成研修」の受講をご検討ください。
- 強度行動障害を有する方の適切な支援計画を作成できる職員を養成するための研修ですので、実務経験も考慮のうえ選考します。
- 受講決定については、6月末までに各法人あてに通知をまとめて送付します。

8 修了証書の交付、修了者名簿の管理

- 本研修の全日程(2日間)を修了した方に、強度行動障害支援者養成研修【実践研修】修了証書を交付します。
- 本研修の修了者は、強度行動障害支援者養成研修【実践研修】の修了者名簿(修了証書番号、氏名、生年月日、所属等)として神奈川県に報告します。

9 受講料及び資料代

- 受講料は無料です。ただし、受講に必要な教材費等 10,000円は、受講者負担とします。(支払方法等詳細は、受講決定通知とともにご案内します。)
- テキスト:『強度行動障害のある人の「暮らし」を支える 強度行動障害支援者養成研修[基礎研修・実践研修]テキスト』(中央法規出版)を別途ご購入してください。
※ 会場までの交通費その他についても、受講者負担とします。

10 新型コロナウイルス等感染症対策について

- 新型コロナウイルス等の感染症の状況によっては、研修開催途中であっても、延期・中止する場合がございます。開催延期となった場合は、代替日程を調整のうえ、改めて全受講者へご連絡いたします。ただし、代替日程確保が困難と判断した場合は、中止といたします。

11 その他

- 遅刻及び早退は欠席とみなします。修了証書を交付できませんので、ご注意ください。通勤時間帯による混雑や天候等を考慮の上、余裕を持ってご来場ください。
- 著しく受講態度が悪く(私語、居眠り、携帯電話の使用等)、繰り返し注意された方には修了証書を交付できませんので、ご注意ください。

- 来場の際は、公共交通機関を利用してください。
- 「強度行動障害支援者養成研修(実践研修)」加算の対象となるため、各サービスの体制加算の要件については各サービスの所管課にご確認ください。
- 障害等を理由に配慮が必要な場合は、お申し出ください。

12 研修に関する問合せ先

(本研修の申込手続き・実施等に関する問合せ先)

社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター
〒231-0047 横浜市中区羽衣町2-4-4 エバース第8関内ビル5F
電話 045(334)7320
ファクシミリ 045(334)8619
研修事務局 桜井・最上

(本研修に関する問合せ先)

横浜市健康福祉局障害施策推進課
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 15F
電話 045(671)4133
ファクシミリ 045(671)3566
担当 大野・伊勢

横浜市強度行動障害支援力向上研修(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】)カリキュラム

	科目	時間	内容
講義	1強度行動障害がある者へのチーム支援		
	①支援を組み立てるための基本	2H	強度行動障害の支援に必要な知識
	②組織的なアプローチ	1H	組織的なアプローチの重要性
	2強度行動障害と生活の組み立て		
	③実践報告	0.5H	チームによる支援の実際
演習	1障害特性の理解とアセスメント	3H	演習① 具体的なアセスメントの方法 演習② 障害特性に基づくアセスメント
	2環境調整による強度行動障害の支援	3H	演習③ アセスメントに基づく支援手順書の作成(1) 演習④ アセスメントに基づく支援手順書の作成(2)
	3記録に基づく支援の評価	1.5H	演習⑤ 記録の分析と支援手順書の修正
	4危険対応と虐待防止	1H	演習⑥ 関係機関との連携